

Canon

オートボーイ TELE

オートボーイ TELE

クワーツデート



日本語版
使用説明書

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この使用説明書は、オートボーイテレとオートボーイテレクオーツデー
ートの共用になっています。ご使用前によくお読みいただき、正しく
お使いいただきますようお願いいたします。

- 説明図はオートボーイテレクオーツデートを使用しています。
- オートデート機構の使用方法はP.31以降に書いてあります。

特長

キヤノンオートボーイテレおよびオートボーイテレクオーツデートは、いつでもどこでも手軽に使えて、そのうえ撮影者の意図どおりの構図選びや写真が楽しめるハイテク感覚のスーパーコンパクトカメラです。

1. 操作の完全自動化

フィルムの自動空送り付き装てん・巻き上げ・巻き戻し・DX方式によるフィルム感度セットなどすべての操作が自動です。

2. WIDE-TELEワンタッチ切り換え

スイッチを押すだけですばやくWIDE-TELE 2 焦点に切り換えられますので、お好みによって撮影レンズを選択できます。

3. ソフトフィルター内蔵

人物などは、ソフトフィルターを使って撮影すると、やわらかいムードのある写真が撮れます。

4. 多重(トリック)撮影可能

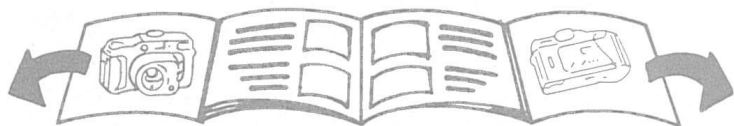
同じフィルム画面上に重ねて撮影することができます。また、マルチイメージアダプターを取り付けてトリック写真も楽しめます。

5. 簡単なストロボ切り換え

(AUTO) のほかに指一本でON-OFFにも切り換えられます。ストロボを自動発光させたり、逆光時の日中ストロボ撮影ができます。

6. ハイパワーリチウム電池採用

ふつうに使って、約5年間電池の交換が不要です。低温時にも力を発揮します。また、約2秒のストロボクイックチャージも可能です。



この使用説明書は図のように開いてご覧ください。

各部名称

① ストラップ取り付け部

⑧ セルフタイマーランプ

② シャッターボタン

③ 電池残量表示

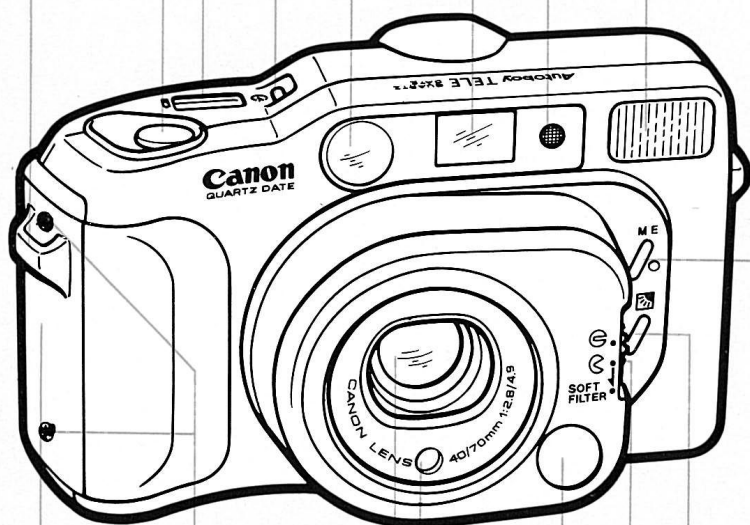
④ フィルムカウンター

⑤ セルフタイマーボタン

⑥ ファインダー窓

⑨ ストロボ発光部

⑦ 測距窓



⑪ 電池蓋

⑫ 多重撮影
ボタン

⑫ レンズ

⑬ 露出補正
ボタン

⑬ 受光窓

⑦ 測距窓

⑩ 電池蓋ねじ

⑭ レンズカバー開閉ダイヤル兼
ソフトフィルターセットダイヤル

目次

特長	2
各部名称	3・38
操作手順	5
ストラップの取り付け方	6
ソフトケースの利用	6
1. 電池の残量を確認します	7
2. フィルムを入れます	8
3. レンズカバーを開けます	11
4. 撮影レンズを選択します	12
5. 撮影です	13
フォーカスロック撮影	15
自動ストロボ撮影	17
セルフタイマー撮影	19
6. フィルムを取り出します	20
ハイテク撮影ガイド	21
☆ストロボ撮影	21
〈日中ストロボ撮影〉	21
☆ストロボ解除撮影	22
☆露出補正	23
☆ソフトフィルターの利用	24
☆多重撮影	25
〈多重トリック撮影〉	28
オートデート機構について	31
1. 写し込みデータの選択	32
2. 日付けの修正	32
3. 写し込みについて	33
4. フィルム装てん日の確認	34
5. 電池・液晶について	34
電池の交換	35
主要性能一覧	36
取り扱い上の注意	39
アフターサービスについて	39

操作手順

操作

撮影準備

自動セット

● 電池残量チェック
フィルムを入れる

● オートローディング
フィルム感度自動セット
(DX対応)
1枚目自動セット

● レンズカバーを開ける
撮影レンズの選択

撮影開始

● ピントを合わせたいものに
オートフォーカスフレーム
を合わせてシャッターボタ
ンを軽く押す

● オートフォーカス回路ON
暗いところではストロボ自動
充電

シャッターON

● 自動巻き上げ
次の撮影セットOK

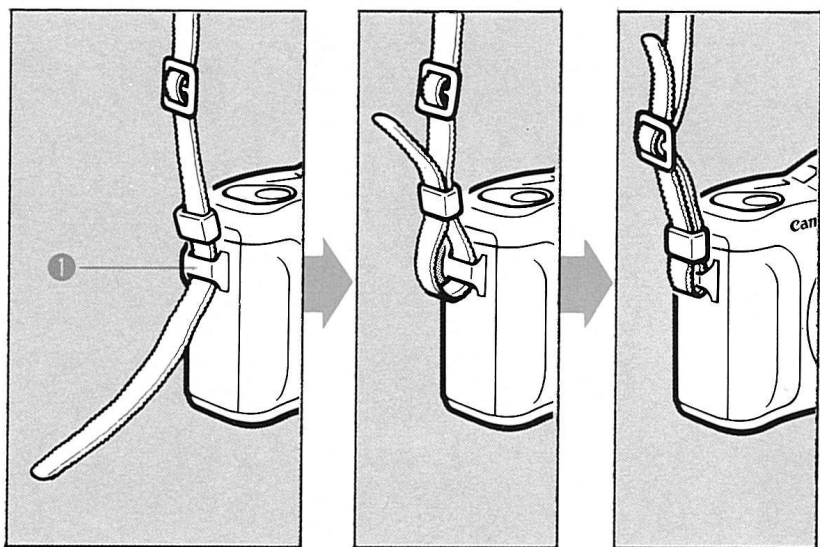
撮影終了

● フィルムを取り出す

● 自動巻き戻し

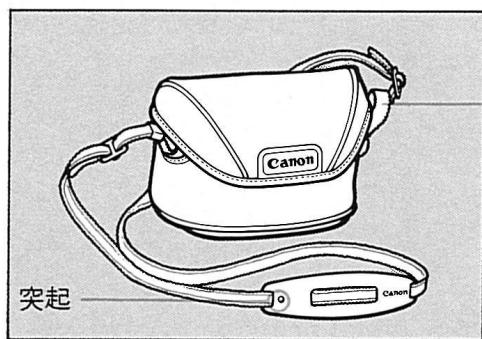
フィルム現像取り扱い店へ

ストラップの取り付け方



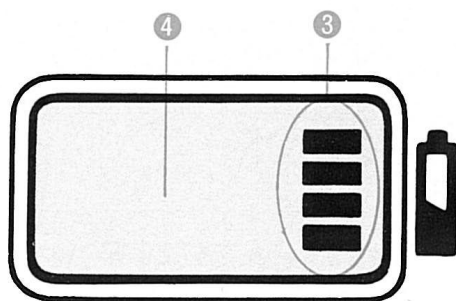
ストラップは図のように取り付けます。

ソフトケースの利用



図のようにストラップ通しベルトを利用すればケースの置き忘れ、紛失などを防げます。

1.電池の残量を確認します

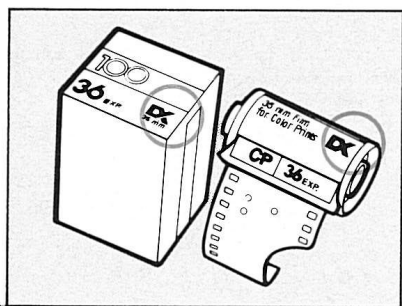


このカメラは専用のリチウム電池(2CR5 6V 1個)が組み込まれています。フィルムカウンター④の中の電池残量表示③を確認してください。バーが2本以上表示されていれば撮影OKです。

◆新品リチウム電池の場合、バーが4本表示され、電池の消耗につれて表示が1本ずつ消えていきます。

◆電池残量表示のバーが、1本しか表示されない場合、またはカメラ購入後5年以上経過したときは、『電池の交換』の頃(P.35)にしたがって、電池を交換してください。

2. フィルムを入れます



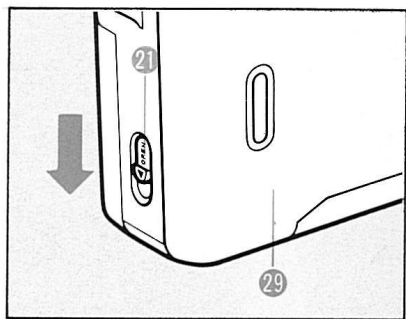
このカメラはフィルムが正しくセットされていないとシャッターが切れません。

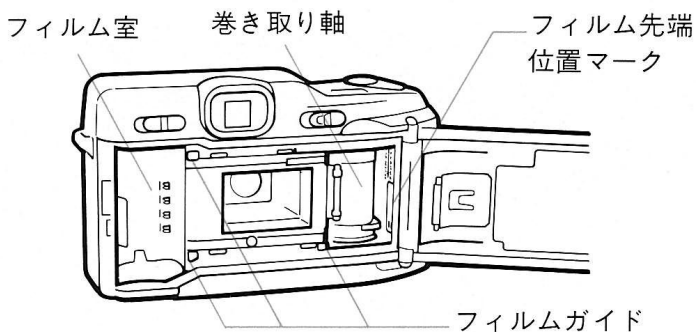
使用フィルムは....？

DXマークの付いたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。

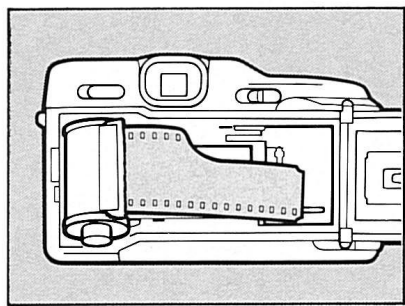
- ◆使用できるフィルム感度はISO50～1600です。ただし、リバーサルフィルム(スライドフィルム)はISO50, 100, 200, 400のものを使用してください。
- ◆DXマークのないフィルムは、ISO100をご使用ください。

- 1) 裏蓋開放ノブ②1を矢印方向に押し下げて、裏蓋②9を開けます。

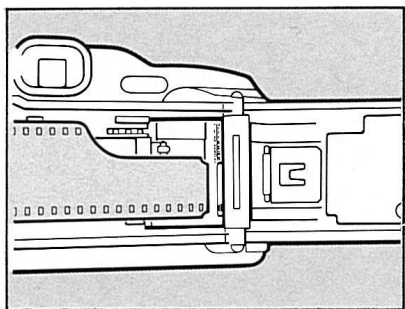




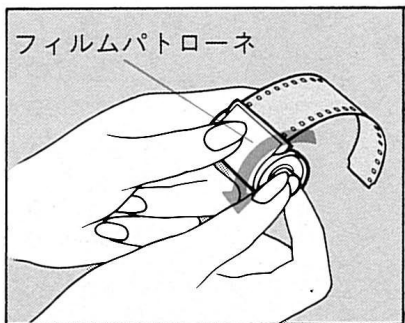
- 2) フィilmを図のような向きにして入れます。



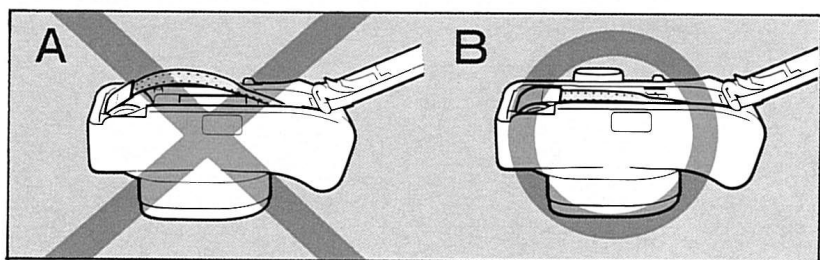
- 3) フィilm先端をフィルム先端位置マーク(オレンジ色)に合わせます。



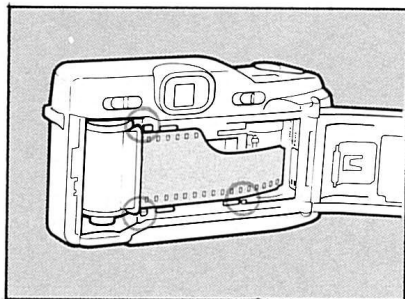
- ◆ フィilmの引き出し部分が長いときはパトローネに少し巻き戻して、フィルム先端位置マークに合うように長さを調節してください。



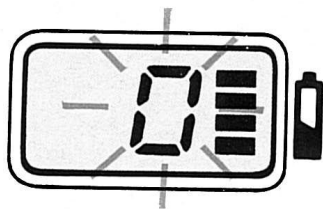
◆フィルムはB図のように入れてください。



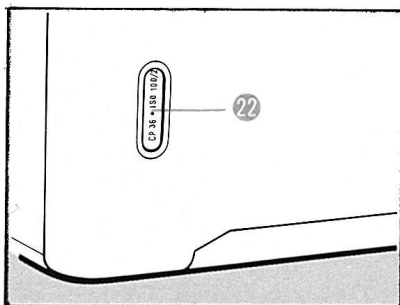
- 4) フィルムがフィルムガイドの間にあることを確認して裏蓋⑳を閉じます。裏蓋を閉じるとカメラが自動的にフィルムを空送りします。



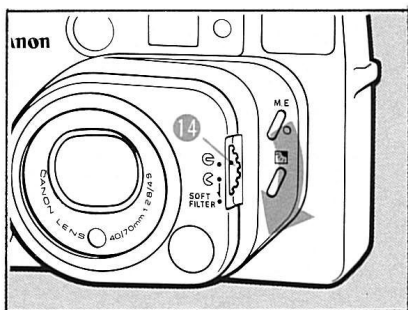
◆フィルムカウンターに“0”が点滅したときは、フィルムが正しく送られていません。このときシャッターは切れませんので、裏蓋を開けもう一度フィルムを正しく入れ直してください。



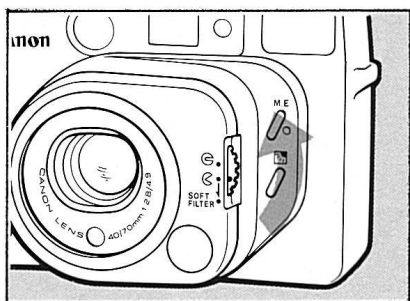
◆フィルム在否確認窓㉒でフィルムが入っているかどうかを確認できます。



3. レンズカバーを開けます



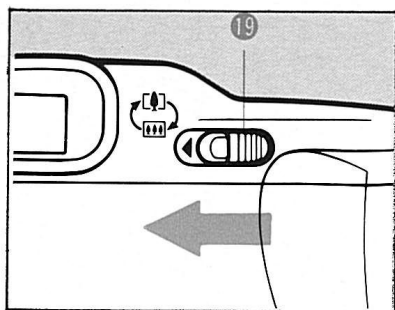
レンズカバー開閉ダイヤル⑭
を矢印方向に回して開けます。



閉じるときは逆に回してくだ
さい。

- ◆ レンズカバーが閉じているときは、フィルムカウンター④は表示されず、カメラは作動しません。
- ◆ カメラを使用しないときは、レンズカバーを閉じておいてください。不用意にシャッターが切れるのを防ぎます。

4. 撮影レンズを選択します

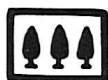


このカメラは撮影レンズをWIDE(広角レンズ)↔TELE(望遠レンズ)に切り換えることができますので、目的に合わせて選択してください。

WIDE - TELE切り換えスイッチ①9を矢印方向に押し切り換えます。押し放しにすると切り換えを繰り返します。



WIDE



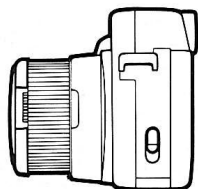
40mmF2.8



TELE

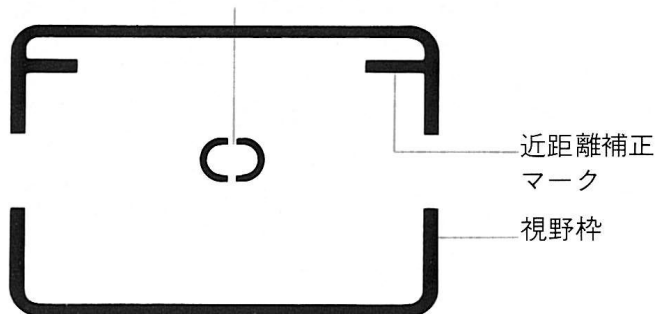


70mmF4.9



5.撮影です

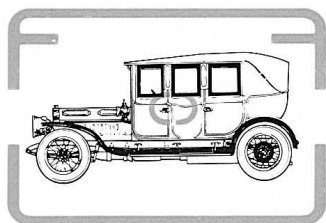
オートフォーカスフレーム



赤マーク
(充電完了表示兼
手ぶれ警告マーク)

●
緑ランプ(測距完了兼近距離警告ランプ)

このカメラはオートフォーカスカメラです。撮りたいものにオートフォーカスフレームを合わせて、軽くシャッターボタン②を押すと自動的にピントが合い、シャープな写真を撮ることができます。

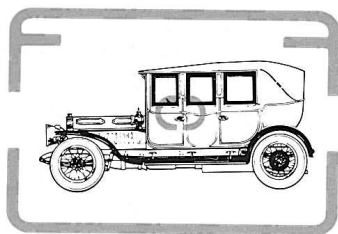


1) ファインダー⑱をのぞいて、ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを合わせます。視野枠の内側が写る範囲です。

- ◆オートフォーカスフレームは、ピントを合わせたいもので完全におおってください。
- ◆撮影できる距離の範囲は0.96m～∞(無限遠)です。0.96m以上離れて撮影してください。
- ◆下記範囲内の撮影では、近距離補正マーク内に撮りたいものを入れてください。

WIDE	0.96m～1.2m
TELE	0.96m～2.0m
- ◆ストロボスイッチ⑰は **AUTO** 位置にセットしておいてください。(詳しくはP.17参照)

- 2) 軽くシャッターボタン②
を押すとピントが合いま
す。ファインダー右下
に緑ランプが点灯すれば
ピント合わせは完了です。

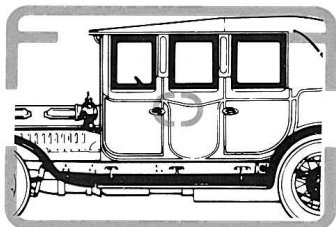


点灯

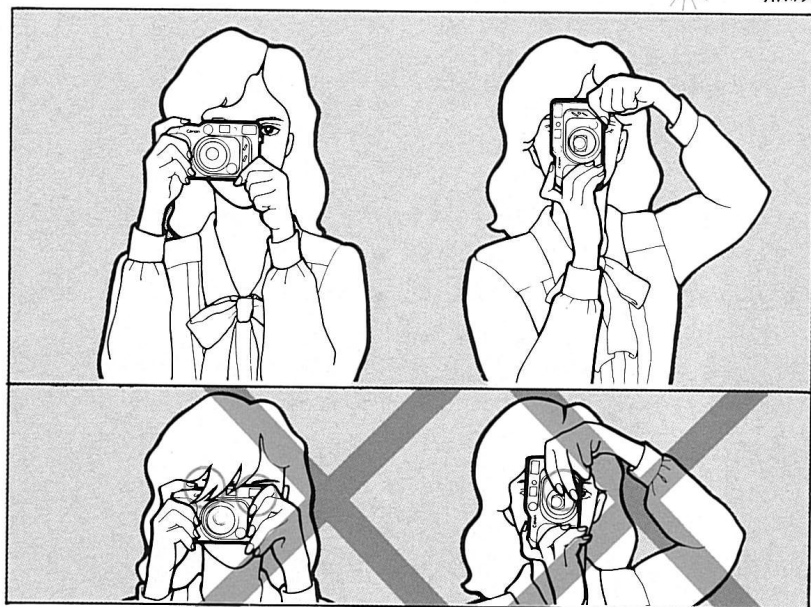
◆ピントは軽くシャッターボ
タンを押したときに合いま
すので、1)の操作をする
ときは、シャッターボタン
から指を離しておいてくだ
さい。シャッターボタンに指
をのせたままで1)の操作
をすると、ピンボケ写真に
なりますので、ご注意ください。

- 3) シャッターボタンをさら
に深く押して撮影します。

◆緑ランプが点滅したときは
撮りたいものが近すぎます
(96cm未満)。撮りたいもの



点滅

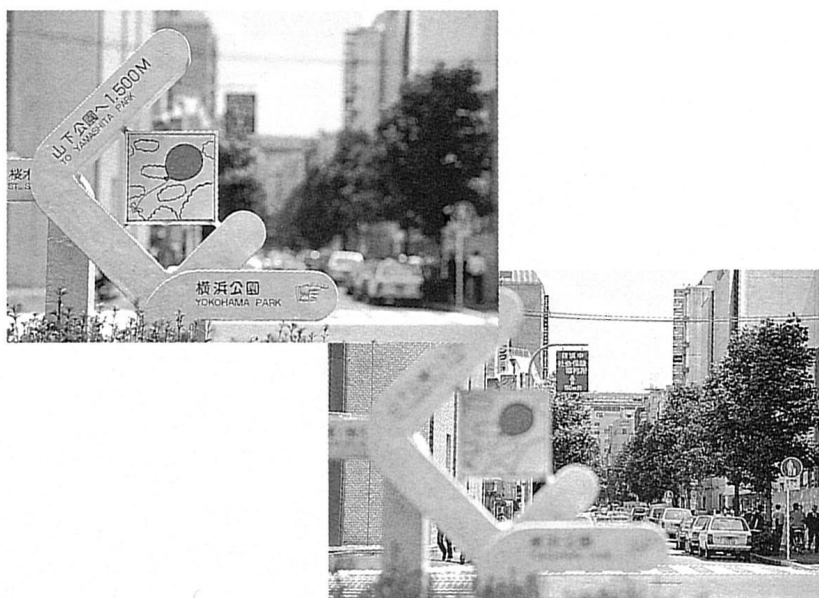


から離れて、もう一度シャッターボタンを軽く押して緑ランプが点滅しない距離で撮影してください。

- ◆カメラを構えるときは、一方のひじを軽く体につけます。
 - ◆撮影のときレンズ⑫、測距窓⑦、受光窓⑬、ストロボ発光部⑨に髪や指がかからないようにしてください。また、手ぶれ写真を防ぐために、シャッターボタン②は静かに押してください。
- 4) 撮影後、シャッターボタンから指を離すと、カメラが自動的にフィルムを次のコマまで巻き上げます。同時にフィルムカウンター④の数字も進みます。

フォーカスロック撮影

写真の構図によっては、撮りたいものが画面の中央にくるとは限りません。ピントを合わせたいものが、オートフォーカスフレームから外れると右下の写真のようにピンボケになってしまうことがあります。そのようなときは次のフォーカスロック撮影をしてください。



- 1) ファインダー⑬をのぞき構図を決めます。



- 2) のぞきながらカメラを少し動かしてピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを合わせます。



- 3) シャッターボタン②を軽く押して、緑ランプの点灯を確認します。



- 4) シャッターボタンを軽く押したまま写したい構図に戻して、シャッターボタンを深く押します。このとき撮影距離は変えないでください。



◆いったん、シャッターボタンから指を離すと、フォーカスロックは解除されますのでご注意ください。

◆写すものによって、例外的にオートフォーカス機構が正しく働かないことがあります。

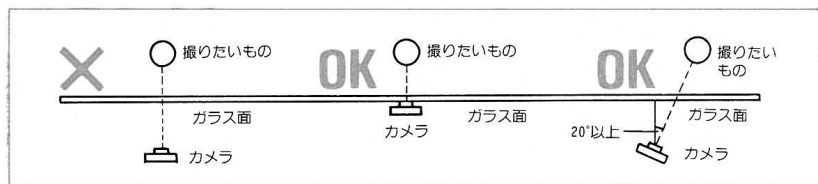
〈例〉：(1)光沢のあるもの(車のボディーなど)

(2)光を反射しにくいもの(黒い髪など)

(3)ガラス越しのもの(ショーウィンドーなど)

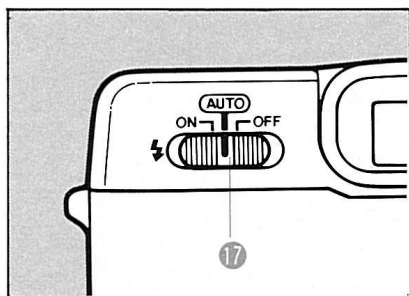
●光沢のあるもの、反射しにくいものを撮るときは、写したいものと同程度の距離にある別のものを利用して、フォーカスロック撮影をしてください。

- ガラス越しのものを撮るときは、ガラスに密着して撮るか、ガラスに対して斜めに撮影してください。(下図参照)





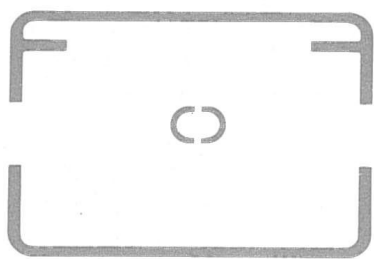
自動ストロボ撮影

ストロボスイッチ⑰を **(AUTO)** に合わせておくと、室内などで明るさが足りないときは、自動的にストロボ撮影に切り換わりきれいな写真が撮れます。




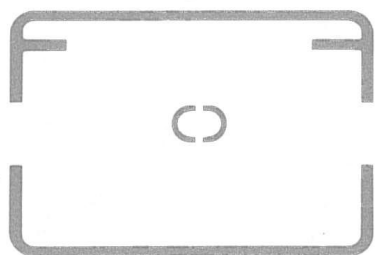
- 1) ストロボスイッチを **(AUTO)** 位置にセットします。
- 2) ファインダー⑱をのぞいて、ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを合わせます。

- 3) シャッターボタン②を軽く押すとファインダー内左下に充電開始を知らせる赤マークが一瞬点灯し、約2秒後に緑ランプと赤マークと一緒に点灯します。これが充電完了の合図です。



約2秒

- 4) シャッターボタンをさらに深く押して撮影します。
◆赤マークが再び点灯するまで、シャッターは切れません。

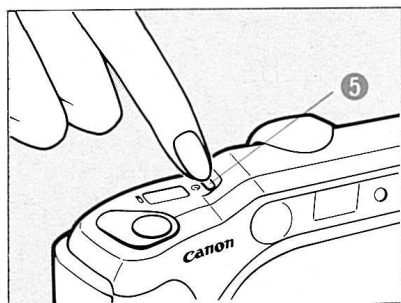


◆自動ストロボ撮影の距離範囲(ネガカラーフィルム使用時)

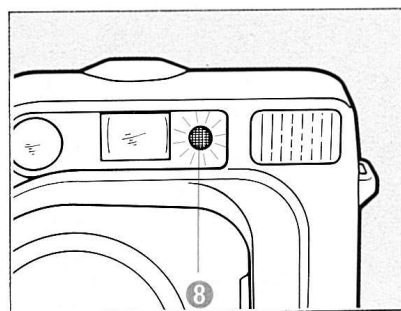
	WIDE	TELE
ISO100	0.96～5.0m	0.96～3.0m
ISO200	0.96～7.0	0.96～4.2
ISO400	0.96～10.0	0.96～6.0
ISO1000	0.96～15.0	0.96～9.0
ISO1600	1.3～20.0	0.96～12.0

セルフタイマー撮影

記念撮影で自分も写真に写りたいときはセルフタイマーをご利用ください。



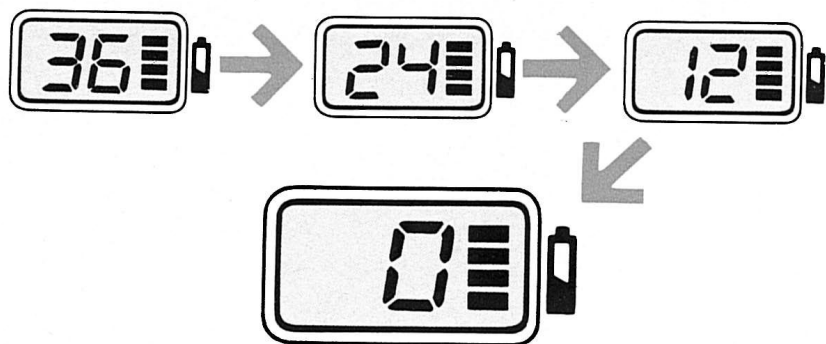
- 1) ファインダー⑬をのぞいて、オートフォーカスフレームを人物に合わせ、セルフタイマーボタン⑤を押し、緑ランプの点灯を確認します。



- 2) セルフタイマーボタンを押すと同時にセルフタイマーランプ(赤)⑧が点滅を始め、約10秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる2秒前に点滅が速くなります。

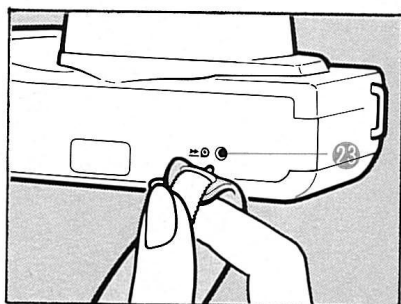
- ◆撮影がおこなわれたことは、セルフタイマーランプ(赤)の点滅が消えたこととフィルムの巻き上げ音で確認できます。
- ◆セルフタイマーを作動中に解除したいときは、レンズカバーを閉じてください。
- ◆ひとりでセルフタイマー撮影するときは、自分が立ちたい場所とほぼ等しい距離にあるものにオートフォーカスフレームを合わせてセルフタイマーボタンを押してから写したい構図に戻し、予定の場所に立ってください。

6. フィルムを取り出します



このカメラはフィルムを最後まで撮り終えると自動的に巻き戻しを始めますので、フィルムの巻き戻し操作は不要です。巻き戻し中は、フィルムカウンター④が逆算します。フィルムを全部巻き終えるとカメラは自動停止します。

- 1) フィルムカウンターが“0”に戻っていることを確認します。
 - 2) 裏蓋⑳を開いてフィルムを取り出します。
- ◆フィルムの規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされることがありますのでご注意ください。
 - ◆フィルムを途中で取り出したいときは、ボディ底部のフィルム途中巻き戻しボタン㉓を押します。フィルム途中巻き戻しボタンは、フィルムカウンターが逆算し始めるまで押し続けてください。
 - ◆フィルム途中巻き戻しボタンは、ストラップ肩当てゴム部の突起を利用して押してください。



いつでもストロボを発光させたいときは、ストロボスイッチ⑰をON位置にセットして撮影してください。

◆ストロボ撮影の距離の範囲は、自動ストロボ撮影と同じです。(P.18参照)

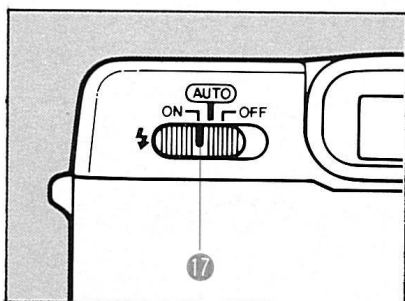
<日中ストロボ撮影>



ストロボ使用



室内窓際や木陰などの人物撮影の場合、逆光で顔が暗くなる場合がありますが、このようなときはストロボスイッチ⑰をON位置にセットして撮影してください。日中でもストロボが発光しますので、補助光になりきれいに写せます。

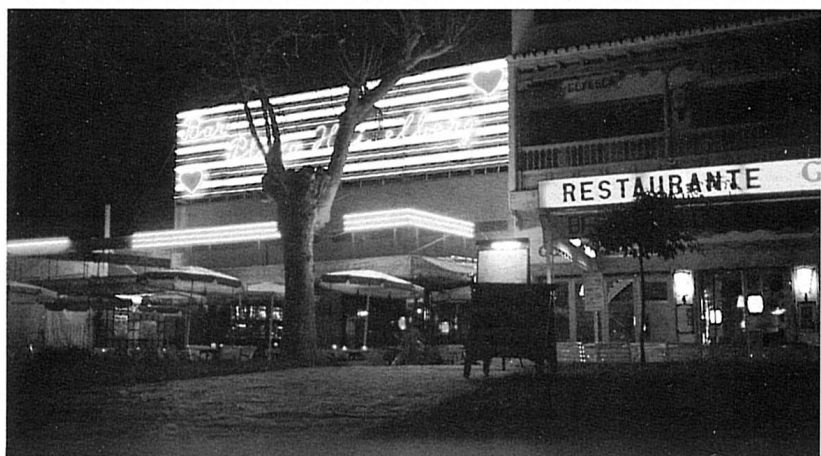


◆下記範囲内で撮影すると効果があります。

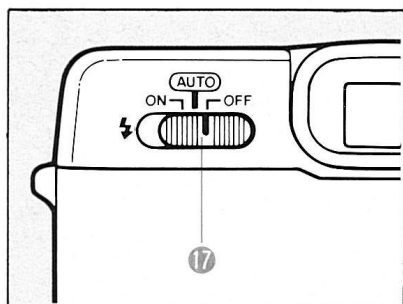
WIDE 0.96～約3.5m

TELE 0.96～約2.5m

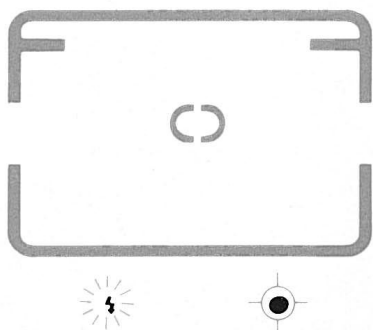
この範囲より遠い場合は露出補正(詳しくはP.23参照)をしてください。



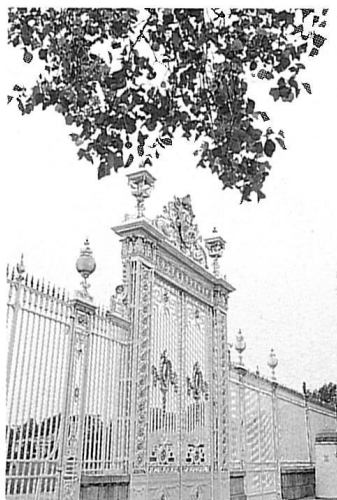
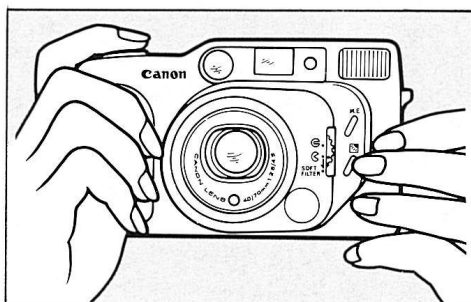
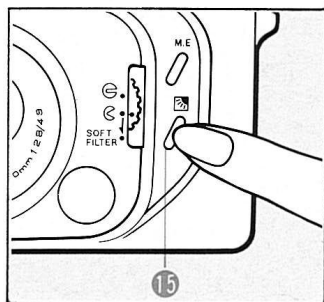
夕焼けや夜景などを自然に写したいときまた、舞台撮影などストロボ撮影をしてはいけないときなどでは、ストロボスイッチ⑰をOFF位置にセットして撮影してください。ストロボ発光が解除できます。



- ◆ファインダー内に赤マーク⚡が点滅したときは、特に手ぶれに注意して撮影してください。



スキー場などでの撮影では背景が雪で明る過ぎて人物が暗くなってしまう。このようなときは露出補正ボタン⑮を押しながら撮影してください。



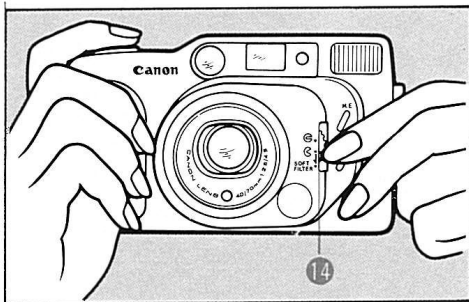
露出補正使用

- ◆露出補正はストロボスイッチ⑰がどの位置にセットされていてもできますが、ストロボは発光しません。
- ◆逆光時にも撮影距離に関係なく効果がありますが、近距離の場合は、日中ストロボ撮影をおすすめします。(P.21参照)
- ◆露出補正ボタンは、シャッターボタン②を押す前に押してください。

ソフトフィルターの利用

人物撮影などで全体をぼかして味のあるソフトな写真を撮りたいときは、ソフトフィルターを利用してください。

必ずシャッターボタン②を押す前に、ソフトフィルターセットダイヤル⑭をSOFT FILTER位置まで完全に回し、そのまま指を離さずにシャッターボタンを押して撮影します。

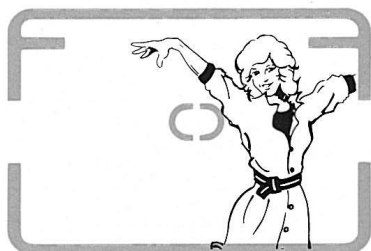


ソフトフィルター使用

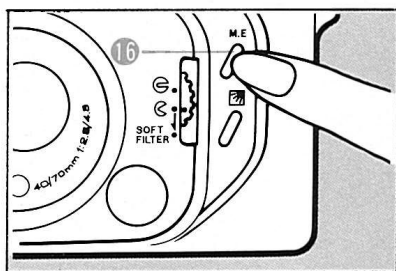
- ◆ソフトフィルターが完全にセットされていないと、シャッターは切れません。
- ◆人物撮影の場合は、TELEにセットしてファインダー内に上半身が入るぐらい近づくとき最もソフト効果のある写真が撮れます。また、ひなたより日陰での撮影の方がきれいな写真になります。

多重撮影

このカメラは、多重撮影ボタン⑬を押すことで自動巻き上げが止まり、同じフィルム画面上に重ねて撮影(多重撮影)することができます。

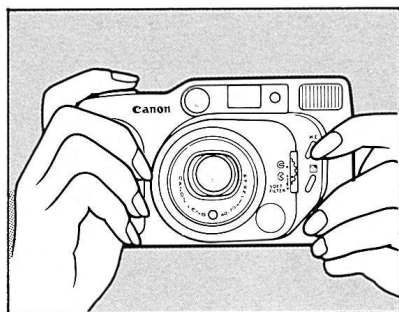


- 1) ファインダー⑱をのぞき多重撮影の構図を決めます。



- 2) ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを合わせ、多重撮影ボタン⑬を押します。

- 3) 多重撮影ボタン⑬を押し
ながら、フォーカスロック
を行い、多重撮影ボタ
ンを離します。

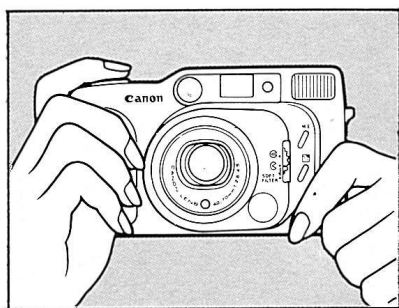


- 4) シャッターボタン②を軽
く押したまま多重撮影の
構図に戻します。



- 5) シャッターボタンをさら
に深く押して撮影します。
(1回目)このときフィル
ムは巻き上がりません。

- ◆ 3重・4重撮影をするとき
は、ここまでの操作を繰り
返してください。



- 6) いったんシャッターボタ
ンから指を離してファイン
ダーをのぞき重ねて写
したい構図を決めます。





- 7) ピントを合わせたいものに、オートフォーカスフレームを合わせてフォーカスロックします。



- 8) シャッターボタンを軽く押したまま写したい構図に戻して撮影します。(2回目)

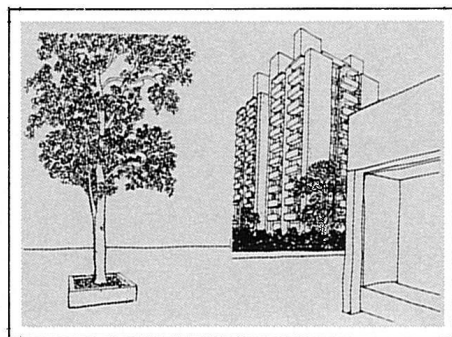
- ◆ 2重撮影は2回目の撮影のとき、3重撮影は3回目の撮影のときに多重撮影ボタンを押さないでください。
- ◆ リバーサルフィルム(スライドフィルム)は使用しないでください。
- ◆ 多重撮影は、青空を背景にするより緑の山や木など濃い色のところを背景にした方が効果がでます。
- ◆ 屋内外撮影にかかわらず、多重回数は4回までにしてください。
- ◆ フィルムをプリントするときは、多重撮影であることを店頭で申し出ないとプリントされない場合があります。

<多重トリック撮影>

マルチイメージアダプター⑳を使用すれば写真のようなトリック撮影がお楽しみいただけます。



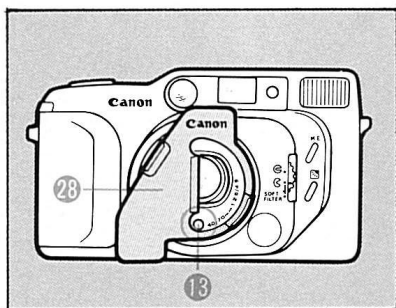
左右の風景が異なる
写真の撮り方

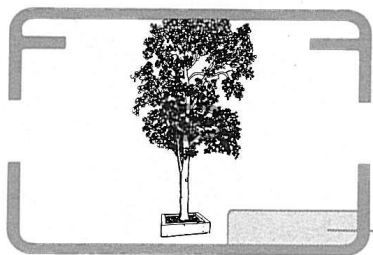


1) ふたつの風景と構図を
決めます。

2) 図のようにレンズ前面に
マルチイメージアダプター
を取り付けます。

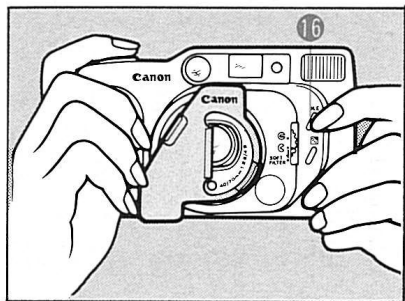
◆受光窓㉑をおおわないよう
に注意してください。



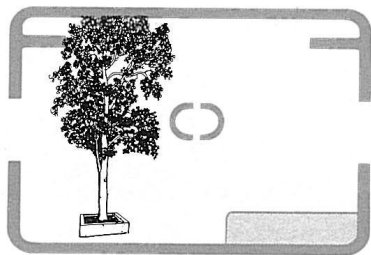


- 3) まずはじめの場所で、撮りたい風景にオートフォーカスフレームを合わせます。

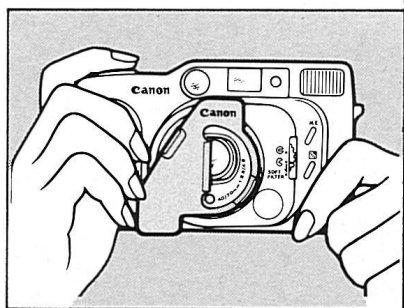
マルチイメージアダプターの先端



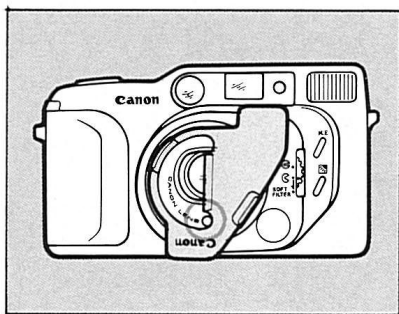
- 4) 多重撮影ボタン⑬を押しながらフォーカスロックを行い、多重撮影ボタンを離します。



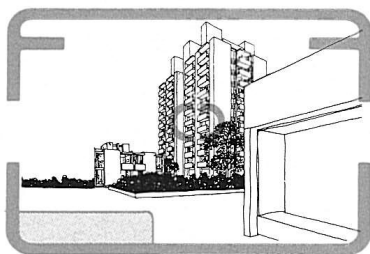
- 5) フォーカスロックしたままで、構図どおりにマルチイメージアダプターの先端が見えない方へ風景を入れて、撮影します。(1回目)



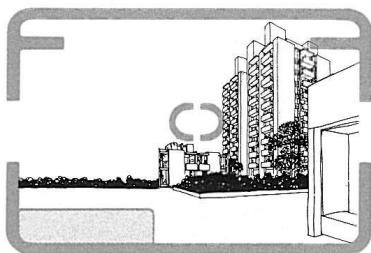
- 6) マルチイメージアダプター 28 を取り外し、図のように180°回転させて反対側に取り付けます。



- 7) 次の場所で、撮りたい風景にオートフォーカスフレームを合わせフォーカスロックを行います。



- 8) フォーカスロックしたままで、構図どおりにマルチイメージアダプターの先端が見えない方へ風景を入れて、撮影します。(2回目)



- ◆リバーサルフィルム(スライドフィルム)は使用しないでください。
- ◆撮影条件によっては、左右の写真の重なりが大きくなる場合がありますが、重なりを小さくしたいときは、WIDEにセットして明るい所で撮影してください。また、人物など撮りたいものを画面中央寄りに配置しないでください。
- ◆背景を同じにして、人物などを撮るときは、必ず三脚を使用してカメラを固定してください。

オートデート機構について

ここから日付け写し込み機構の説明です。日付け写し込み機構(クォーツデート機構)をもたないオートボーイテレをお買い上げの方は『電池の交換』の項(P.35)へおすすみください。

オートボーイテレクォーツデートは、撮影した日付けや時間を写真に写し込む機構をもったカメラです。ご家族の記念やお仕事の記録などにご利用ください。

1. 2029年12月31日までの日付けを記憶しているオートカレンダーが組み込まれていますので、撮影のたびに日付けをセットする必要はありません。
2. 一度時間をセットすれば、そのまま正確な時刻を写し込むことができます。
3. 今までは忘れてしまいがちだった、カメラにフィルムを入れた日を確認することができます。

表示例

●<年・月・日>表示

86 9 18

(1986年9月18日)

●<月・日・年>表示

SEP 18 86

(1986年9月18日)

●<日・月・年>表示

18 9 86

(1986年9月18日)

●<日・時・分>表示

18 17:30


(18日17時30分)

●<OFF>表示

OFF

(写し込みはおこなわれません)

●写し込み確認表示

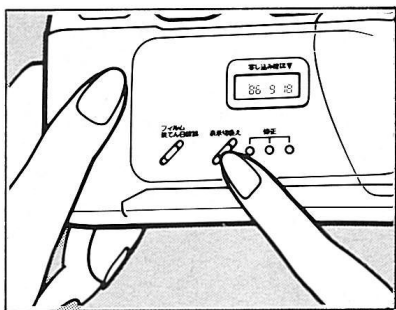
86 9 18 

(写し込み確認マークが撮影後約2秒間点灯します)

1. 写し込みデータの選択

表示切り換えボタン⑳を押すたびに表示パネル㉑上の表示が次のようにかわります。

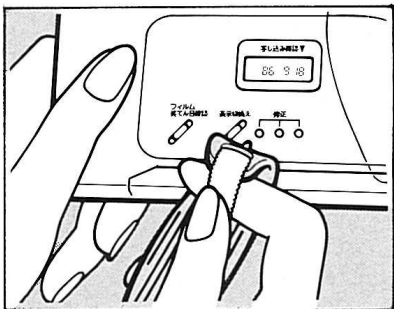
〈年・月・日〉表示
↓
〈月(英文字)・日・年〉表示
↓
〈日・月・年〉表示
↓
〈日・時・分〉表示
↓
〈OFF〉表示



表示されたデータが写し込まれますので、希望するデータを選択してください。

2. 日付けの修正

数値修正ボタン㉒を押して修正します。



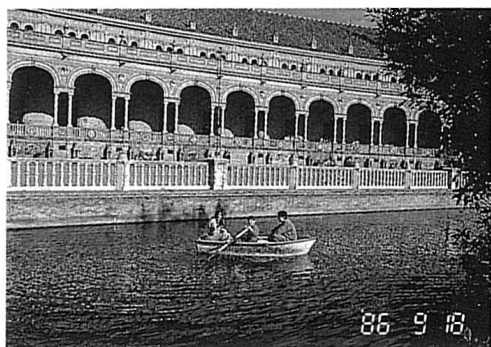
左側の数値修正ボタンを押すと表示パネル㉑上の左側のデータだけが修正されます。真ん中を押すと真ん中、右側を押すと右側だけが同様に修正されます。例えば、〈年・月・日〉表示を選択している場合、左側を押すと“年”が、真ん中を押すと“月”が、右側を押すと“日”が修正されます。

- ◆どの表示を選択している場合でも修正の方法は同じです。
- ◆数値修正ボタンは不用意に押されないようになっていますので、修正するときはストラップ肩当てゴム部の突起を利用して押してください。

- ◆ どれかひとつの表示のデータを修正すれば、他の表示のデータも自動的に修正されます。
- ◆ 数値修正ボタン²⁶を押すたびに数字がひとつずつ進みます。また、押し続けると数字が連続して早送りします。なお、“分”→“時”、“日”→“月”の桁上げはおこなわれません。例えば、“分”を修正していて60分を超えると“分”はまた0から1、2……と戻りますが、この場合“時”は変わりません。
- ◆ 正確な時刻を合わせたいときは、〈日・時・分〉表示の“分”を修正すれば0秒にリセットされます。

3. 写し込みについて

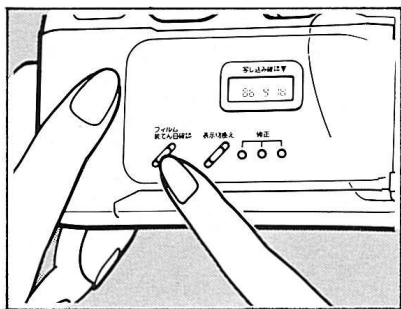
表示パネル²⁰の表示が〈OFF〉表示のとき以外はすべて写真に写し込まれます。



- ◆ デートは写真のように写し込まれます。
- ◆ 写し込み位置に明るいものがくると日付けや時刻の数字が読みにくくなります。また、カラーフィルムをご使用の場合数字はオレンジ色に写りますので、オレンジ系のものや白いものが写し込み位置にあると読みにくくなります。
- ◆ フィルムの種類によっては、写し込まれる文字が多少にじむことがあります。
- ◆ 低温下では〈日・時・分〉表示は選択しないでください。

4. フィルム装てん日の確認

フィルム装てん日確認ボタン⑳を押すとフィルムを入れた日が表示パネル㉑上に表示されます。



- ◆フィルム装てん日は、選択した表示で日付けが表示されます。ただし<日・時・分>と<OFF>表示の場合は、<年・月・日>で表示されます。
- ◆撮影後はなるべく早くフィルムをカメラから取り出して、現像・プリントにお出してください。

5. 電池・液晶について

電池

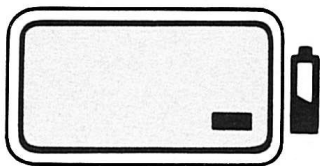
- 電池はカメラ本体側のリチウム電池と共用です。
- 本体の電池を交換すると表示パネル㉑上に'85. 1. 1'が表示されますので、日付けと時刻を修正してから使用してください。

液晶

- デート表示部と写し込み部には液晶を使用しています。液晶はその性質上、通常の使用で5年程経つと表示が薄くなることがあります。その場合は最寄りのキヤノンサービスステーションで液晶の交換をご用命ください(有料)。

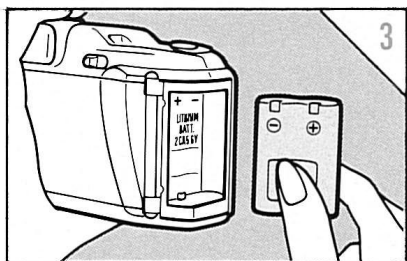
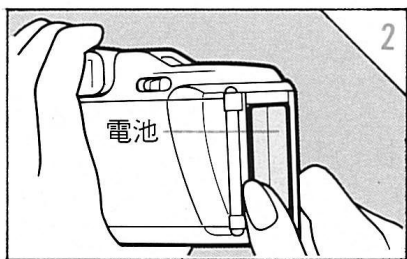
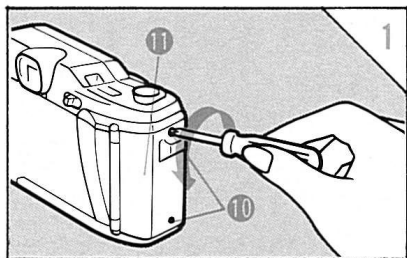
電池の交換

電池残量表示③のバーが1本しか表示されない場合や、カメラ購入後5年以上経過したときは、次の手順で電池を交換してください。



◆電池残量表示のバーが撮影の途中で1本になったときでもそのフィルム1本分は撮影できますので、最後まで撮り終えて、必ずフィルムを取り出してから電池を交換してください。

◆新品のリチウム電池と交換するとき以外は、絶対に電池をカメラから取り外さないでください。



- 1) 小型のプラスドライバーで電池蓋ねじ⑩(2つ)を外し、電池蓋⑪を取り外します。
- 2) 電池の側面に親指をかけ、いったん起こしてから電池を引き抜きます。
- 3) 新品のリチウム電池(2 CR5 6V)を電池室の図に従って入れます。

◆新品のリチウム電池を入れると、電池残量表示③のバーが4本表示(オートボイテックオートデートの場合表示パネル⑳に'85.1.1'が表示)されます。もし表示されないときは電池を取り外し、もう一度入れ直してください。

- 4) 電池蓋を取り付けます。

◆電池の交換は必ずフィルムが入っていないときに行ってください。

主要性能一覽

- 型式： 2 焦点レンズ内蔵35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ
- 画面サイズ： 24×36mm
- レンズ： キヤノンレンズ
WIDE： 40mmF2.8
3 群 4 枚構成
TELE： 70mmF4.9
6 群 7 枚構成
スペクトラコーティング
2 焦点電動切り換え
ソフトフィルター内蔵
- フィルターねじ径： 40.5mm
- レンズカバー： 開けるとリリース可能，閉じるとリリースロック
- 焦点調節： アクティブオートフォーカス
- 撮影距離： 0.96m～∞
- シャッター型式： 絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
- 多重撮影： 多重撮影ボタンによる
- ファインダー： 逆ガリレオ式アルバタファインダー
倍率： WIDE： 0.45倍
TELE： 0.72倍
- ファインダー情報： オートフォーカスフレーム
近距離補正マーク付視野枠
測距完了ランプ
兼近距離警告(緑色LED)
充電完了表示マーク
兼手ぶれ警告(赤色LED)
- フォーカスロック： 可能
- フィルム装てん： 自動(自動空送り付き)
- フィルム巻き上げ： 自動
- フィルム巻き戻し： フィルム終了時自動巻き戻し開始，終了後オートストップ
途中巻き戻し可能
- 裏蓋開放： 裏蓋開放ノブによる
- フィルムカウンター： ボディ上部LCDに 7 セグメント 2 桁表示
順算式
巻き戻しに連動して逆算
裏蓋開放により自動復帰
フィルム空送り不良表示あり
- フィルム在否確認： 裏蓋にフィルム在否確認窓あり

セルフタイマー：電子式セルフタイマー

セルフタイマーボタンにより作動，約10秒後リリース
ボディ正面赤色LED点滅表示

測光作動範囲：EV 6～18(ISO 100)

WIDE：1/8 F2.8～1/500 F22

TELE：1/3 F4.9～1/350 F27

フィルム感度：DX方式により自動セット(ISO50～1600)

露出補正：露出補正ボタンにより+2段補正可能

内蔵ストロボ：低輝度自動発光式

(電子制御式フラッシュオート機構内蔵)

日中ストロボ撮影可能

ストロボ連動範囲：

WIDE：0.96～5.0m TELE：0.96～3.0m

(ネガカラーフィルム ISO100使用時)

発光間隔(ストロボ充電時間)：約2秒

ストロボ切り換え：ストロボスイッチによる(AUTO)(自動発光)及び、
ON-OFF 3点切り換え

色温度：昼光色相当

<オートデート機構>

液晶表示式

クォーツデジタルオートカレンダー時計内蔵

(西暦1985～2029年うるう年自動修正)

<時計機構> 常温(20℃)下で月差約2分以下

<写し込みデータ>

キャノンオリジナル表示5モード設定可能

<フィルム装てん日確認>

フィルム装てん日確認ボタンにより表示

電源：リチウム電池

2 CR 5 6 V 1個

寿命：約5年間または24枚撮りフィルム約40本(30%
ストロボ使用時)

バッテリーチェック：ボディ上部LCDに4セグメント4段階残量表示

大きさ：134(幅)×78.7(高さ)×61.8(奥行)mm

<134×78.7×64.3mm>

TELE時 奥行18.1mm増

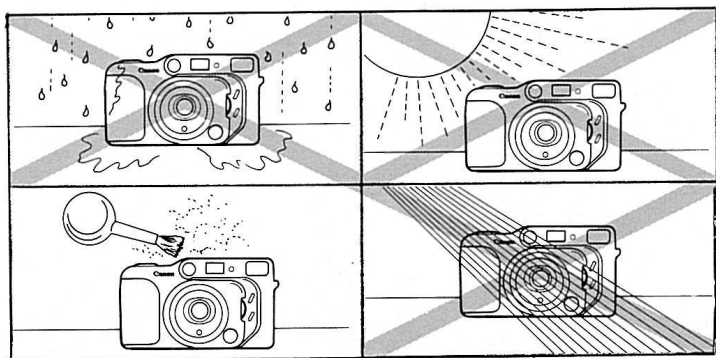
重量：400gr.(電池含む)<415gr.(電池含む)>

●< >内はオートボーイテレクォーツデートのデータです。

●都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

取り扱い上の注意

- ◆このカメラは防水構造になっていませんので、ぬらさないでください。もし水にぬらしてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。また水滴がついたり潮風に当たったときは、乾いたきれいな布でよくふいてください。
- ◆直射日光下の車の中などは高温になり、故障の原因となることがありますので放置しないでください。
- ◆カメラが故障したときは、高電圧回路がありますので絶対に自分で分解しないでください。
- ◆レンズやフィルム室内にごみがついているときは、市販のプロアブラシで吹きとばすだけにしてください。レンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。なお、特に汚れのひどいときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。
- ◆カメラを長期間使用しないときは、風通しの良い涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ◆フィルムはカメラに入っているも、空港でのX線検査による感光は防止されません。フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。



アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃、諸掛りはお客様にてご負担願います。
 2. 本製品の補修用部品(製品の機能を維持するために不可欠な部品)は、日本国内において7年間を目安に保有しています。従って原則として期間中は修理をお受けします。
なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましては、お買い上げの店、または当社サービス機関にお問い合わせください。
- ☆修理品を送付の場合は、見本のフィルムを添付する等、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28
カメラ相談室 (03) 455-9353

◎サービスステーション・営業所

札幌	〒060	札幌市中央区北三条西4-1	(第一生命ビル)	☎(011)	231-1353
仙台	〒980	仙台市一番町1-1-30	(やまと生命仙台ビル)	☎(022)	266-4151
新潟	〒950	新潟市東大通り1-4-1	(マルタケビル)	☎(0252)	43-2111
銀座	〒104	東京都中央区銀座5-9-9		☎(03)	573-7834
新宿	〒163	東京都新宿区西新宿2-6-1	(住友三角ビル地下1階)	☎(03)	348-4725
横浜	〒221	横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4	(安田生命横浜西口ビル)	☎(045)	312-0211
大宮	〒330	大宮市大成町2-273		☎(0486)	66-3930
岡	〒420	静岡市鷹匠2-7-2	(静米会館)	☎(0542)	55-2241
名古屋	〒450	名古屋市中村区名駅3-21-7	(三交ビル)	☎(052)	563-6822
梅田	〒530	大阪市北区梅田1-8-17	(第一生命ビル)	☎(06)	341-9335
都	〒604	京都市中京区東洞院通御池下町435	(京都御池第一生命ビル)	☎(075)	241-0216
沢	〒920	金沢市玉鉾2-266		☎(0762)	91-1215
高松	〒760	高松市紺屋町9-6	(高松大同生命ビル)	☎(0878)	22-3666
岡山	〒700	岡山市中山下1-9-40	(新岡山山ビル)	☎(0862)	22-8228
広島	〒730	広島市中区小町2-30	(第二有楽ビル)	☎(082)	245-7791
福岡	〒812	福岡市博多区美野島1-2-1	(キヤノン販売福岡ビル)	☎(092)	411-4173
沖縄	〒902	那覇市安里102	(日本生命安里ビル)	☎(0988)	67-2106

◎営業所

千葉	〒280	千葉市末広2-13-2		☎(0472)	61-5121
大分	〒870	大分市城崎町1-3-31	(富士火災大分ビル)	☎(0975)	37-4117

◎サービスセンター

東京	〒108	東京都港区港南2-13-29		☎(03)	450-2731
大阪	〒540	大阪市東区森の宮中央2-10-9		☎(06)	941-1076

◎休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日・祝日)その他(土・日曜日・祝日)

フィルム現像・同時プリント時のご注意

オートボーイテレおよびオートボーイテレクオーツデートには、ソフト効果のある写真や多重撮影が楽しめる機構がついています。

それらの機構を使用したときは、現像・プリントの際その旨をお店に申し出てください。

申し出ないとプリントされないことがありますので、ご注意ください。